

# サーキュラー エコノミーを創る

東海大学政治経済学部  
経済学科教授

山本 雅資

7

■筆者略歴■博士（経済学）。富山大学極東地域研究センター准教授、富山大学学術研究部社会科学系教授などを経て、2021年から現職。専門は環境経済学、環境政策学。著書に「環境経済学の政策デザイン：資源循環・低炭素・自然共生」等。

私の専門分野である経済学では市場の力を重視している。世界中の企業や消費者一人ひとりが自らの意思で分

「市場を創る」とい

「市場の失敗」の最

も大きな原因は、市場

存在しないことであ

環境経済学の分野

で言えば、最も知られ

かにする、という考え

た市場の欠如は、地球

温暖化ガスの排出に関

少しずつ費用を伴うよ

うになりつつあるが、

これはまさに市場を創

る行為である。

さまざまな理由から市

場が失敗することがあ

る。この「市場の失敗」

費用を世界各地でもた

す。この「市場の失敗」

費用を世界各地でもた

す。この「市場の失敗」

はどのようにデザイン

することが重要である

とはどのようにする

はどのようにする

はどのようにする

はどのようにする

はどのようにする

## 目指すは社会のリデザイン

あるのか？日本では2000年ごろから各種リサイクル法が整備され、優れた成果を挙げている。例えば、容器包装リサイクル法は参

加している自治体が収集した使用済み容器包

装（ビンやPETボトル等）を全国的に入札

に付ける仕組み（逆償）バズルの場合はこの

処理費を支払う）を提

供しているが、これも

市場が形成されていく

を追求する人間活動を

けることは簡単なこと

ではなかったが、ICT

容器包装リサイクル法

という法制度が生み出

した「市場」である。

また、2023年7月

に欧州委員会は、使

用済み自動車の管理に

関する指令（ELV指

令）の新しい規則案を

提示した。この中で、

新車が必要とするプラ

スチックの25%以上を

再生プラスチック（う

ち廃車由来25%）とす

報を、確実にして効

率的に流通させること

は言うまでもなく、C

がある。

新しい社会デザインの

会のリデザインを進め

ていきたいものである。

■日本のやり方でCE

を指そう

経済産業省による

「循環経済ビジョン2

020」をみると、我

が国のCEが向かう方

向性が、EUをはじめ

とする国際的な方向性

と大きく異なるように

は思えない。その一方

それぞれ国の産業構